



安全!



安心!

箱型未来通信



2013年 冬号
vol.7

<http://www.hakogata.com/magazine/>

2013年がスタートを切りました。「安全!安心!箱型未来通信」では、今年も新しい情報、楽しい話題をたくさん集め、みなさまのお役に立てるようにがんばります。今年巳年、ヘビ年は景気回復の年と言われます。蛇は魔よけともいわれ、蛇の夢をみると運氣や金運が上昇する兆しとの言い伝えもあります。今年一年良い年になるといいですね。さて今回も全国各地から沢山の話題を取りそろえました。まずは新潟県から郷土料理の話題、施工事例は奈良県からです。また、今年、出雲大社遷宮の年です。島根県から、春号、夏号と2回にわたりその様子を詳しくご紹介致します。今回も最後までお付き合い下さい。

全国取れたて支部便り Vol.1 北信越支部 <新潟県> 編

今回から全国各支部の話題を、都道府県単位でお伝えしていきます。第1回は北信越支部の新潟県からです。

いつも箱型擁壁協会のメルマガを御覧いただき有難うございます。今回は新潟県の郷土料理の一つである「のっぺ」を御紹介致します。新潟県と書きましたが、「のっぺ」は、日本全国に分布する郷土料理の一つであり、地方によりいくつかの呼び方が有るようです。(例:のっぺい、のっぺい汁、のっぺい鍋、のっぺい煮、のっぺ、のっぺ汁、のっぺ鍋、のっぺ煮など微妙に異なります。)



「のっぺ」とは、古い文献で見ると、野鳥料理の変化したもので、その野鳥料理は仏教の伝来とともに、四足の肉が嫌われ代わりに鶏肉が使われたために発展して来たようです。以前、野鳥料理をトヤ(鳥屋)料理と称し、郷土名物にしていたようです。また、日本に米とともに作物(芋等)が伝わってきていますが、それらの収穫物を神殿に奉納し、その年々野で取れた作物が平穏であったことを祝い、祈願し、その奉納した作物を料理して食べていました。それらの料理が一緒になって一般家庭で作られるようになり、地方独特の趣向が加わって今の形に変化したようです。特に新潟県では冠婚葬祭や御節料理に使われています。



写真でお分かりいただけるように材料は、鶏肉・にんじん・ごぼう・れんこん・里芋・こんにやく・竹の子などです。これらをかつお出し汁やみりんなどのだしと貝柱を加えて煮込んだもので、里芋でとろみを付けるのが特徴です。おわんに盛り付けて、いくらやさやえんどうなどをかけると彩りもより豊かになります。新潟県では産物である鮭を加えることも多いようです。他の地域では「汁」として料理されているようですが、新潟県では「煮物」です。ヘルシーである上、素材のすばらしいハーモニー、温めてもよし、冷やしてもよしで飽きることはありません。新潟県にお出かけの際はぜひ御賞味下さい。お店により味が異なりますのでその違いを楽しんでいただきたいと思います。

新潟料理のお店「田舎や」
(新潟市中央区古町)さんの「のっぺ」です。

あなたも新潟県の郷土料理「のっぺ」を味わってみませんか。家庭やお店により、作り方は微妙に異なりますが代表的なレシピをご紹介します。ぜひ作ってお召し上がりください。新潟県の味、ふるさとのぬくもりが味わえますよ。

作り方はこちらから <http://www.hakogata.com/magazine/jirei/recipe.html>

新潟県: 藤井通信員

施工事例紹介



造成工事

奈良県

奈良県葛城市クリーンセンター



市役所からの要求は壁高H=11m以上に適用可能な実績のある擁壁とのこと、背面の地山を大きく掘削できないことから、大型積み擁壁等と比較検討を行った結果施工性、実績などの点から箱型擁壁が採用されました。施工箇所は曲線部で箱型擁壁設置箇所の両端部に新規の擁壁が設置され擁壁に延長を合わせるため現場打ちコンクリートでの延長調整が必要になりました。時期的に雨の多い時でしたが箱型擁壁の天候に左右されない特徴を活かしました。

箱型擁壁トピックス

島根県からの旬なトピックスをお届け致します。島根県出雲大社は今60年に一度の「平成の大遷宮」真っ最中とのことです。滅多に見られない記念の行事を見逃さないように、また遠方の方にも詳しくご案内できるように今回から3回に分けて取材を致します。今回は、現在の島根県の様子、「平成の大遷宮」を控えた出雲大社の様子を伝えてまいります。

ゆるキャラグランプリが開催されたり、テレビ番組でゆるキャラが取り上げられたり、ゆるキャラが全国的なブームになっていますね。

島根県の玄関口である出雲縁結び空港(出雲空港)には、島根県のゆるキャラ「しまねっこ」が展示されています。

昨年11月に「ゆるキャラグランプリ2012」が開催されましたが、「しまねっこ」は前回の21位を大幅に上回って見事第6位に入り大健闘しました。



出雲縁結び空港
(出雲空港)

観光キャラクター
「しまねっこ」

「しまねっこ」の性別や年齢は不明ですが、趣味はそば打ち(出雲そば)で特技はしめ縄作り、最近では食べすぎで少し動きが鈍いことを気にしているようです。

「しまねっこ」は観光客を招き入れる「招きねこ」をモチーフにして作られており、歴史と神話に彩られた島根を現したお社風のキャップを被って、首にはしめ縄風のマフラーを巻いています。

しまねっこをよろしくにゃ!



スサノオのオロチ退治(出雲市駅前)



オオクニヌシと素戔(出雲大社内)

みなさん島根県と聞くと真っ先に何を思い浮かべますか?

出雲大社、宍道湖、松江城、玉造温泉、世界遺産の石見银山、NHK 朝の連続ドラマ小説(ゲゲゲの女房、だんだん)で舞台となった安来・松江、庭園日本一の足立美術館、浜田市にある海洋館アクアス...、実はその中で最もたくさんの観光客が訪れる場所が出雲大社です。出雲大社は日本を代表する古社で、年間200万人を超える観光客で賑わいます。

日本最古の歴史書「古事記」には「スサノオのオロチ退治」や「オオクニヌシと素戔」など日本人にとってなじみの深い神話がたくさん記されていますが、その約3分の1は出雲大社がある出雲地方を舞台としたものです。

その「古事記」が平成24年をもってちょうど編纂1300年を迎え、これを記念して平成24年7月21日~平成24年11月11日の間「神話博しまね」が開催されました。メイン会場になった出雲大社の隣にある島根県立古代出雲歴史博物館には、当初目標としていた40万人を大幅に越える約73万人の来場者があったようです。

現在、出雲大社では60年に一度という「平成の大遷宮」の真っ最中で、御本殿をはじめとして境内の様々なお社の修理が行われています。

今回の修造では江戸時代の大屋根に施されていた「ちゃん塗り」と呼ばれる特殊な塗装が、実に130年ぶりに再現されたそうです。

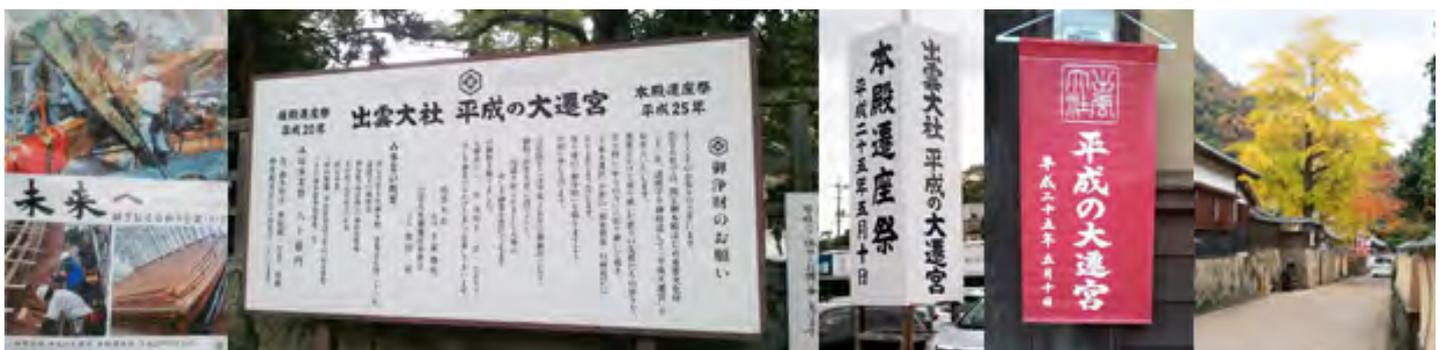
これを聞くとなんだかありがたみがぐっと増しますね。

第1回目の取材はこのあたりで終わりにします。次回は、出雲大社の正しい参拝方法や、出雲大社の由来、山陰出雲の特産品などについてご紹介しようと思います。最後まで読んで頂き、だんだん(出雲弁)。



島根県:阿部通信員

出雲大社 勢溜の正面鳥居(木製)



出雲大社では「本殿遷座祭」に向けて着々と準備が進められています



『安全！安心！箱型未来通信』では箱型擁壁工法の施工実績を中心にお伝えしていますが、そもそも箱型擁壁工法とはどんな工法なのでしょう？少しずつ紹介していきます。

《実は豪雪地域に最適です》

箱型擁壁は豪雪地域で天端に発達した雪ぴは、階段状の小段部のクッション作用によって一気に落下しません。通行車両や歩行者への滑落事故を防止する効果が期待できます。また、階段状の箱型擁壁の小段部は、斜面積雪の長さを短く区切るため、斜面積雪の移動を少なくし全層なだれを抑制する階段工の効果が有ります。

《カーブの見通しが良い箱型擁壁》

箱型擁壁は、凸カーブなどの切り土部に階段状の曲線施工が出来るため、箱体前面の小段部に三角形の欠落空間が形成され、進行方向の擁壁際で車両を運転する方の視覚障害が軽減されます。カーブでいち早く対向車を確認できるので事故防止、安全運転にも繋がります。

箱型擁壁協会部会だより 広報部会プレゼンテーション実施状況

広報部会北信越支部では箱型擁壁工法の実力を大勢の皆様にご紹介させて頂くため、昨年11月にプレゼンテーションを6箇所で開催致しました。年末を控え気ぜわしい時期にもかかわらず、プレゼン開催をお受け頂きました関係者の方にこの場を借りて御礼申し上げます。



プレゼンテーションの内容は、昨年発生した東日本大震災で被災した箱型擁壁工法の状況報告をふくめた箱型擁壁工法の仕組みをパソコン資料を使いながらご説明致しました。さらに、耐震実験の様子や箱型擁壁工法の詳細をDVDをご覧頂きながら解説いたしました。6会場で合計64名の方に聴講して頂き、不慣れなプレゼンにもかかわらず、最後まで熱心にご静聴いただき御礼申し上げます。

箱型擁壁協会広報部会では引き続きプレゼン希望があれば開催させて頂きます。人数にかかわらずお問い合わせをお待ちしております。

実施日	曜日	時間	場所	参加人数	備考
11月21日	水	PM 1:00	富山県砺波土木センター 様	20人	箱型擁壁協会参加者も含む
		40分			
11月26日	月	AM 11:00	石川県県央土木総合事務所 様	15人	箱型擁壁協会参加者も含む
		1時間			
11月27日	火	PM 1:30	石川県奥能登土木総合事務所 様	9人	箱型擁壁協会参加者も含む
		1時間			
11月27日	火	PM 3:30	石川県中能登土木総合事務所 様	15人	箱型擁壁協会参加者も含む
		1時間			
11月28日	水	PM 2:30	富山県富山土木センター 様	17人	箱型擁壁協会参加者も含む
		30分			
11月30日	金	PM 1:30	ネクスコ東日本新潟支店 様	14人	箱型擁壁協会参加者も含む
		50分			

箱型擁壁協会デスクから一言

関西でも関東でも共通なのが女子会の話題です。「恋バナ」こと恋愛のお話をつきすることは有りません。理想の男性の話語り出せば朝まで止まりません。関西女子の理想のタイプと関東女子の理想のタイプは違うような気がします。関西女子が求めるのはなんと言っても「笑い」です。どのくらい楽しく笑わせてくれるかが基準になります。笑わせてくれば一緒にいて楽しいですね。関東女子は男性に「やさしさ」を求める方が多いようです。男性の「やさしさ」も大切ですが、関西は生活の中に笑いの文化がとけ込んでいます。恋人同士でも笑いが必要です。



たとえばあなたが彼女とのデートに遅刻したとしたらどんな言い訳をしますか？ 関東の男性なら「電車が遅れて」とか「車が渋滞にはまって」とかもっともらしい言い訳をしませんか？ でも関西の男性なら、「ここに来る途中通りすがりの犬におうてな『腹が痛いねん、助けて』って言われて、おれは『デートなんや、時間あれへんねん』って言うたんやけど、どうしてもって言われたから、おんぶして近くの病院に連れて行って遅れてしまうたんや、ごめん人助けや、いや犬助けやんか。」なんて言い訳をします。ムツとしていた彼女も思わずクスッと笑ってしまうかもしれません。とっさの言い訳や笑いの切り返しの鋭さが、知識の豊富さや頭の回転の良さと判断されてしまうんです。関西の女性は意外と鋭い感性をもっていて、笑いが肌に染みこんでいます。

o.aya

箱型芸術？館

お題「春」

箱型擁壁の階段状のゆとりの空間を上も下も風が通りぬけて、ゆったりした箱型擁壁の姿が春の風にまぶしい。

箱型の ゆとりの小段 春のかぜ



大阪府
食い倒れ次郎

ツタの新しい葉がコンクリートの無味乾燥な肌を隠して見る者にやさしく語りかけるようだ。

春の葉が 肌を隠して 嬉しいな



鹿児島県
西郷井

箱型擁壁の小段部分に伸びた新緑の葉がきらきらと光り、嬉しそうに風に踊っている。

小段棚 新緑の葉 踊る春



岡山県
牧草地

箱型擁壁の小段空間は癒しの空間でもあり、そこに伸びたツタの葉が風に揺れて目に優しさを届ける。

癒し棚 春に覆われ 風そよぶ



青森県
津軽平三

春の雪がツタの葉をつたい小段からあつという間に箱型擁壁の中に消えてしまえば束の間の冬でした。

春の雪 緑と共に 箱の中



奈良県
異邦人

箱型擁壁協会

〒532-0011

大阪市淀川区西中島5丁目2番5号 中島第2ビル 3F

TEL: 06-6390-8552

URL: <http://www.hakogata.com/>

E-mail: info@hakogata.com